

## 英語

### I

#### ■出題のねらい

高等学校卒業後、久しぶりに会った友人同士の間で交わされた日常的な会話を題材とした問題です。口語的な会話表現や、会話内容についての理解できているかが問われています。

#### ■採点講評

正答率は43%で、特に  と  が低かったです。  は、会話の中で Angus が会員割引を受けたことや、駐車料を支払ったことを言っているので、正答はそれらとギターの代金を合わせた③ \$607.50になります。  の “steal” は「盗む」が元の意味ですが、そこから派生して、ここでは「もうけ物」という意味で使われており、④a bargain が正答です。このような口語表現を身につけるとともに、状況文脈を読み解く力を身につけましょう。

### II

#### ■出題のねらい

ブラックホールの大きさに関する科学的な記事を読んで、情報が正確につかめているかを問う問題です。

#### ■採点講評

正答率は54%で、全般的にまずまずの出来でしたが、  の正答率が低かったです。これは関係代名詞についての文法問題ですが、空所の後の重力 (gravity) というのは、ブラックホール、すなわち巨大な宇宙物質 (massive space object) の重力のことを意味していますので、関係代名詞は所有格の②whose が正答です。

### III

#### ■出題のねらい

絶滅危惧種についての英文記事を参照して、英語のスライドプレゼンテーションを作成するという設定で、英文記事の情報が正確につかめているかを問う問題です。

#### ■採点講評

比較的良好にできていました（正答率63%）。□15の正答率が少し低かったですが、本文の2行目～3行目に“Losing even a single species can have disastrous impacts on the whole ecosystem...”と書かれており、種の消滅は生態系全体にとって重大な問題であることが分かりますから、正答は①ecosystemとなります。

### IV

#### ■出題のねらい

都市化によるヒートアイランド現象について書かれた英文を題材に、読解力を問う問題です。英文読解のための基礎的な語彙や文法の知識に基づいて、段落ごとに述べられている趣旨をつかみながら、全体として何を伝えているのかを理解することが大切です。

#### ■採点講評

全体としてはまずまずの出来（正答率52%）でしたが、正答率の低い問題がいくつかありました。□19は単語“pronounced”の意味を文脈から推測する問題ですが、ここでは温暖化の影響が都市部でより「目立ってはっきりしている」という意味で、②が正答です。①の「進んでいる」や④の「警告されている」を選んだ受験生が多かったようですが、pronounceにはそのような意味はありません。□20と□21も正答率が低かったのですが、いずれも基本的な語彙文法問題です。□20は後ろにtoがありますから、respond toという熟語で、～に応答する・対応するの意味（正答①）。□21は動詞“surround”の語形変化の問題ですが、air temperature（気温）を修飾するなら③surrounding（取り囲んでいる、周りの）が正答です。□24は、放射冷却現象（radiation cooling）によって気温が下がるというのがこの記事の主旨ですから、（ア）と（イ）の組み合わせとしては③cool - coolingが最も適当であるということになります。□25と□26はいずれもよくできていました。

# V

## ■出題のねらい

コロナ禍で話題となったアマビエを話題とする英文を基にした、語句整除による英作文問題です。単に機械的に語を並べ替えるのではなく、前後の文脈を理解して、的確な文を自分でつくることができるようにすることが大切です。

## ■採点講評

正答率は37%で、いずれの語句整序問題もあまりできていませんでした。文法力と表現力を鍛えるために、普段から理解するだけの受け身の学習にとどまらず、自分の気持ちや意見や自国の文化について、英語で表現する発信型の学習を心がけてください。語句整序は以下ようになります。

27 ②reported ⑤to ③appear ①in

28 ④share ⑤it ③with ①as

29 ⑤will ①help ③stop ②the pandemic